

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」
活動テーマ	倉敷市真備町の緊急救援活動及び、避難所・仮設での慰問ボランティアツアー



子ども支援

被災した子どもたちに必要な「親」「地域」そして外からの「社会」の愛。悲しみを乗り越えた子どもたちは必ず思いやりのある暖かい大人へと成長します。これからも保護は無償の愛を与え続けていきます。



復興支援ボランティアツアー Vol.18

おたがいさまプロジェクト

4



サロン活動  
(足湯・お茶会)

おたがいさまプロジェクトは子供と大人が一緒にいられるイベントにしています。大人は子供の笑顔に癒やされ、子供は大人(地域)から社会を学ぶ。とても大切にしているテーマです。

復興支援ボランティアツアー Vol.18

おたがいさまプロジェクト

7

<目的>

西日本豪雨において、岡山県で一番被害のあった、倉敷市真備町の被災した方のストレス発散や居場所づくり、特に子供や疲労した被災者の心に寄り添うための傾聴・慰問ボランティアを行いました。一人でも多くの方に被災地の現状を知ってもらい、防災・ボランティアの意義を理解してもらう為に、初参加や学生の方を優先しての活動でした。

<活動方法>

復興支援ボランティアバスツアーを計4回行い、主に子ども支援やお茶会・足湯等のサロン活動を行いました。

<活動効果>

被災者同士のコミュニティ形成の場所を提供し、一人一人違う心の問題を傾聴する事で、悲しみや怒り、寂しさからの解放、孤独死や引きこもりなどの抑制活動となりました。また子どもたちには心から寄り添うことで、前向きな気持ちにする事や、社会性を伸ばす事ができました。

ボランティアは、初参加や学生の方を優先で参加してもらい、被災地の現状やボランティアの意義、何より「思いやる心の大切さ」を意識付ける機会となりました。

また、バス内においても意見共有やツアー改善の話など行い、知人や SNS 発信など、情報発信に努めてもらいました。